

CS こひつじ科礼拝式次第

2022年12月11日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

15、いざうたえ（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ イザヤ書40章1節

慰めよ、わたしの民を慰めよと

あなたたちの神は言われる。

おはなしとおいのり

「ほんとうの^{なぐさ}慰め」

門脇献一校長

みなさんおはようございます。だんだんクリスマスが近づいてきましたね。クリスマスはイエス様がお生まれになった日ですね。今朝はイエス様のお誕生が私たちの「ほんとうの慰め」になることをおぼえたいと思います。

お話は旧約聖書のイザヤ書からはじまります。そこに書かれていることはイエス様のお誕生よりずっと昔のユダヤの国のことです。ユダヤの国には王様がおりました。まことの神様を信じる王様もいましたが、まことの神様を忘れてしまう王様があらわれ、ついには他の間違った神様に従う王様もあらわれました。それで神様は悲しみ、何人もの預言者を送ってユダヤの国がまことの神様から離れないようにと働きかけました。でもユダヤの国の人々は耳を傾けませんでした。とうとう神様はお怒りになって、バビロンという強い国にユダヤの国を征服させました。神様のさばきがなされたのです。ユダヤの国はほろんでなくなり、ユダヤの人々は無理やりバビロンに連れていかれました。ずいぶんひどい目にあっていると思われるのですが、これは神様に大きな罪をおかした当然の報いであつたといえますね。でも、神様に大きな罪を犯してバビロンに連れていかれた人々には、やがて回復されるという約束もありました。神様はユダヤの人々をけっして見捨てません。神様はイザヤという預言者をたてて、ユダヤの人々に語りかけました。神様はイザヤにこう言われました。

「わたしの民を慰めなさい」

神様は自分から離れていったユダヤの人々を「わたしの民」と呼んでくださっています。ユダヤの人々は神様を忘れて離れていったのに、神様はユダヤの人々をけっして見捨てませんでした。そしてユダヤの人々を「慰めなさい」とおっしゃったのです。神様はなんと憐れみ深い方なののでしょうか。実際に、自分たちが犯した大きな罪のためにさばかれ、バビロンで苦しい生活を送っていたユダヤの人々を、神様はご自分のところに呼び戻してくださいました。つまり、神様を礼拝する神殿があつたエルサレムにユダヤの人々が帰ることが許されたのでした。

この神様が私たちの信じる神様です。私たちが神様を忘れ、神様から離れ、罪を犯したとしても、神様はけっして私たちを見捨てることはされません。そして神様は私たちをご自分のところに引き戻して、一緒にいてくださろうとしています。そのために神様は、救い主であるイエス様を私たちにつかわしてくださいました。このイエス様が十字架にかかって私たちの罪へのさばきを身代わりに受けてくださることによって、私たちは罪ゆるされました。イエス様は、私たちが神様のもとにたちかえり、神様の子として生きられるようにしてくださいました。私たちは、イエス様がしてくださったことを信じることによって、この恵みを受けることができますのです。これが私たちに与えられた「ほんとうの慰め」です。

みなさん、「ほんとうの慰め」を私たちに与えてくださるイエス様のお誕生を喜びましょう。今、「ほんとうの慰め」が私たちに与えられていることを感謝しましょう。

祈り

天の父なる神様、あなたをご自分から離れ去ったユダヤの民をもけっして見捨てず、彼らを慰め、神様に立ち返る道を備えてくださいました。神様の前に罪人である私たちにも、救い主イエス様をお与えくださったことをおぼえ感謝します。そして、イエス様によって神様が私たちと共にいてくださることを示してくださいし慰めてくださいますことをも感謝します。救い主イエス様によってお祈りします。 アーメン

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

19、もろびとこぞりて (こどもさんびかをお用ください)